

# 東海経済レポート

## （2018 年 8 月）

### ～企業部門、家計部門ともに緩やかな成長が継続～

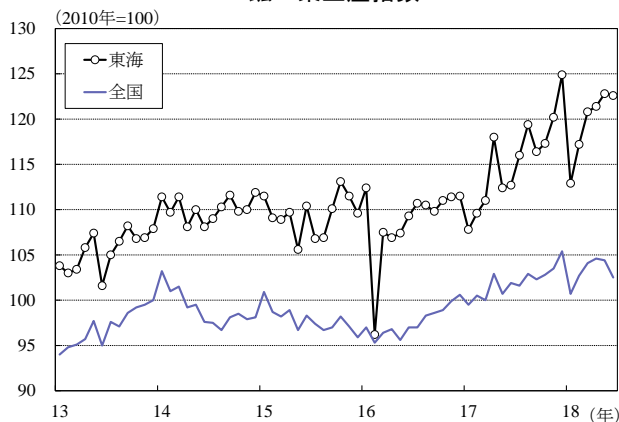
#### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は緩やかな成長を続けている。企業部門では、生産が高水準を維持し、輸出も増勢を保っている。家計部門では、良好な雇用環境の下、個人消費が底堅く推移している。
- 生産は、6月の鉱工業生産指数が前月比▲0.2%と5ヵ月ぶりに低下したが、その幅は限定的であり、また、水準的には引き続きリーマン・ショック以降の最高域にある。業種別では、輸送機械や電気機械が前月比減産となったものの、電子部品・デバイス工業は同2桁の伸びを示した。
- 金属工作機械の受注は、当地区主要8社の国内受注額が6月に前年比+16.4%と11ヵ月連続のプラスとなった。国内受注の約5割を占める一般機械工業からの受注が10ヵ月連続、同3割を占める自動車工業からの受注が7ヵ月連続で前年比増加した。
- 輸出額（円ベース）は、7月に前年比+6.1%と18ヵ月連続で増加。EU向けが14ヵ月ぶりに前年比マイナスとなったものの、アジア、中国向けは好調で、米国向けも2ヵ月ぶりにプラス転化。品目別にみても、13ヵ月連続で同2桁増の工作機械や12ヵ月連続プラスの自動車をはじめ、総じて増勢を維持した。
- 労働市場では需給の引き締まった状況が継続。6月の有効求人倍率は、愛知県が2.00倍とリーマン・ショック後の最高を4ヵ月連続で更新。岐阜県は2.08倍と1992年7月以来の最高を更新。三重県もバブル崩壊後の最高水準で推移している。
- 個人消費関連では、6月の小売主要3業態の販売が前年比+2.9%と2ヵ月ぶりの増加。業態別には、百貨店が同+7.6%と大きく伸びたほか、コンビニとスーパーも前年を上回った。一方、6月の新車販売台数は同▲6.8%と、2ヵ月連続で減少した。
- 住宅着工戸数は、6月に年率換算9.3万戸、前年比+1.3%と3ヵ月連続の増加。持家と戸建て分譲が前年割れとなった一方、貸家とマンション分譲は増加し、全体を押し上げた。

### 【生産①】

6月の鉱工業生産は前月比▲0.2%。5ヵ月ぶりの低下となったが、引き続き高水準を維持。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

輸送機械と電気機械は5月に続いて前月比減産となったが、電子部品・デバイス工業の生産が急伸。

業種別の鉱工業生産(東海)

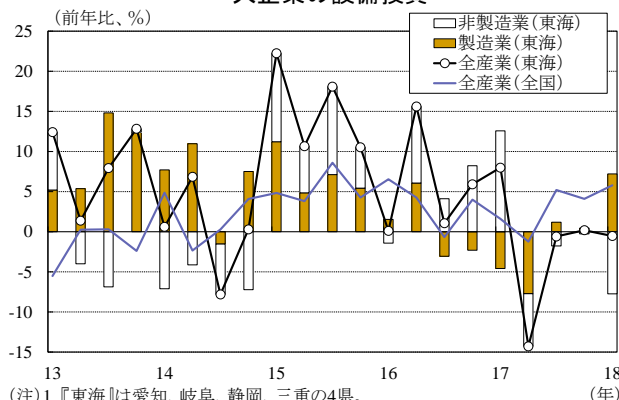


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は前年比▲0.5%と、小幅ながら2四半期ぶりに減少。

大企業の設備投資

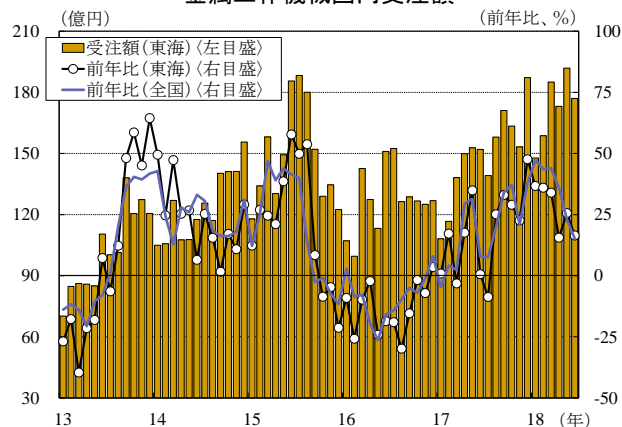


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は6月に前年比+16.4%と、11ヵ月連続の増加。

金属工作機械国内受注額

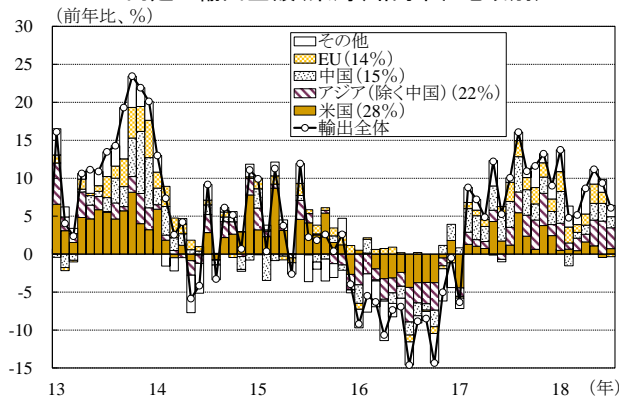


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

7月の輸出額(円ベース)は前年比+6.1%と18ヵ月連続で増加。小幅減のEU向けを除き増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

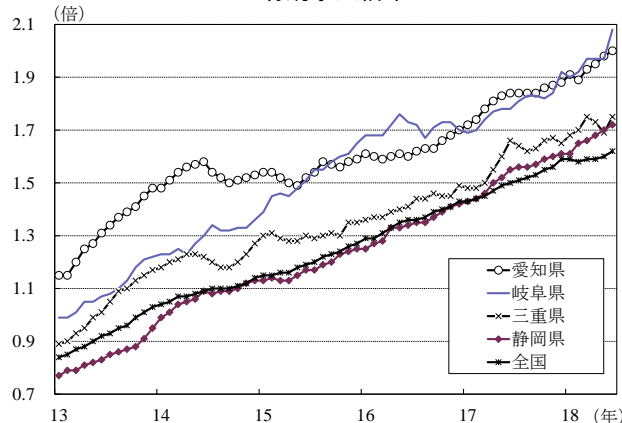


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2017年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

6月の有効求人倍率は、愛知県が2.00倍とリーマン・ショック以降の最高を4ヵ月連続で更新。

有効求人倍率

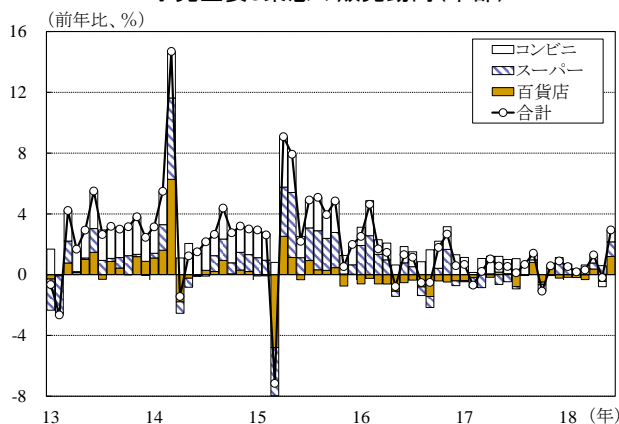


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【個人消費】

6月の小売主要3業態の販売は前年比+2.9%と2ヵ月ぶりの増加。とりわけ百貨店が同+7.6%と増伸。

小売主要3業態の販売動向(中部)

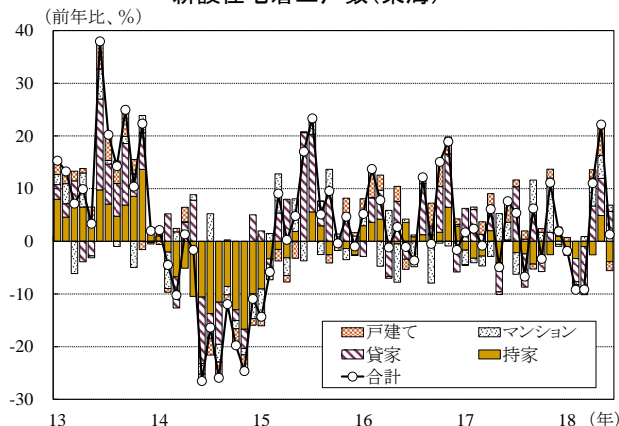


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【住宅投資】

6月の住宅着工戸数は年率換算で9.3万戸、前年比+1.3%。貸家とマンション分譲が増加。

新設住宅着工戸数(東海)

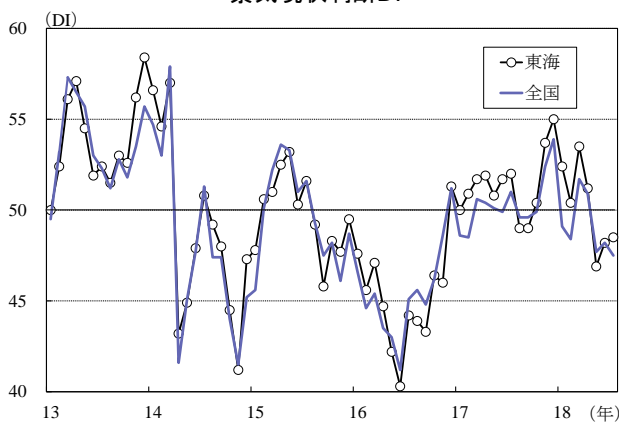


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【景気ウォッチャー調査】

7月の現状判断DIは48.5と2ヵ月連続で上昇。ただ、好不調の分かれ目となる50割れは変わらず。

景気現状判断DI

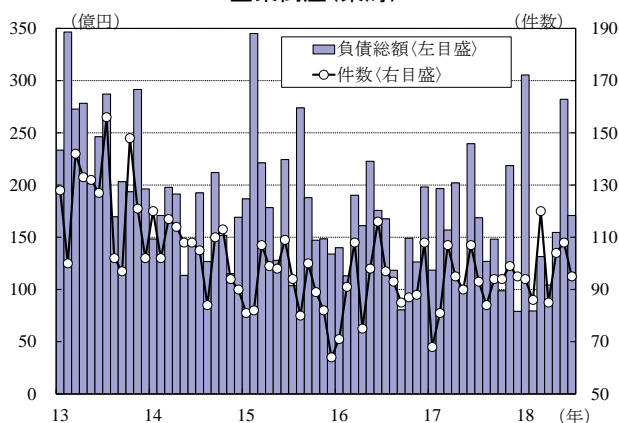


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【倒産件数】

7月の企業倒産件数は95件で、前年比+2.2%の増加。負債総額は170億円で、同+1.3%の増加。

企業倒産(東海)

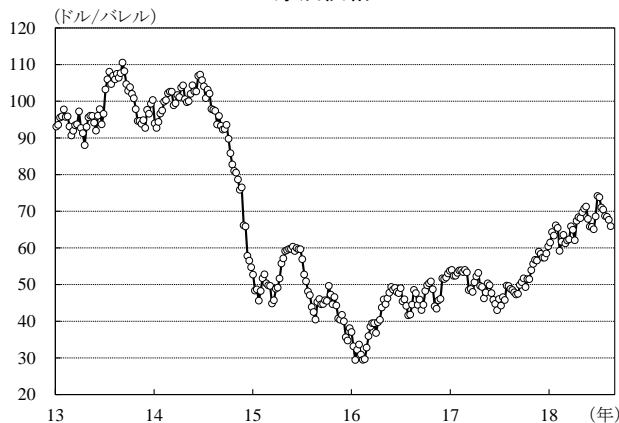


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【原油価格】

WTI先物は、サウジアラビアの増産や貿易摩擦への懸念等を背景に1バレル60ドル台半ばまで軟化。

原油価格

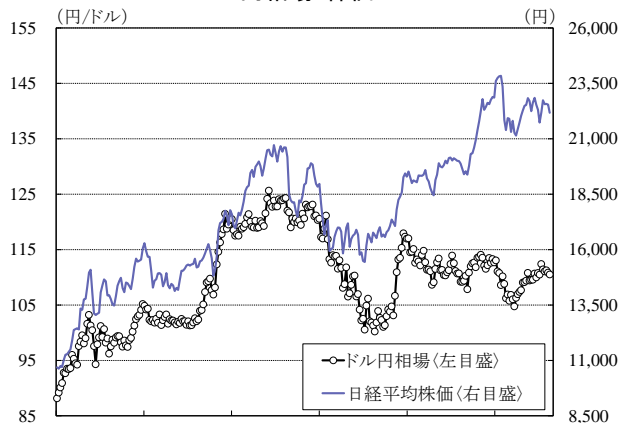


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【円相場・株価】

為替相場は新興国経済への懸念等に起因するリスク回避姿勢の強まりから円高方向。本邦株価も軟調。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。